

2022年12月12日掲載 輸送新聞

都留貨物自動車の株取得

関連会社筆頭株主に

第一貨物 さらなる地域貢献へ

第一貨物は7日、関連会社である都留貨物自動車の株式を取得したと発表した。

都留貨物自動車は山梨県富士吉田市に本社を置き、特別積合せ貨

物運送を含む一般貨物自動車運送事業、貨物利用運送事業、倉庫事業などを展開。資本金は8520万円となっている。第一貨物は1989年に都留貨物自

動車の株式を取得し経営に参画。以降山梨県を中心とした都留貨物自動車の顧客基盤と、第一貨物のネットワークを融合させ、特積み事業を中心とした地元密着型のサービスを展開。現在は30万株を所有し、小原雄大常務取締役が都留貨物自動車の非常勤監査役を兼務している。

第一貨物は今回、個人株主から47万5千株を取得し、合計77万5千株を所有したもので、これにより議決権比率89・8%の筆頭株主となった。経営陣の異動等を行わず、総合物流提案力を共有・活用を図ることで、グループ一体となって利便性向上や地域貢献に努めていくとしている。